

令和二年度「鎌足桜の魅力」写真と短歌・俳句コンテスト表彰作品

短歌の部

〔カレンダー採用〕

- 鎌足桜保存会会長賞 外出自粛の人なき山里静まりてさくらに雨の滴のひかる 鈴木早苗 【五・六月】
鎌足公民館館長賞 やうやくに花房ほぐれ咲きそむる鎌足ぎくら雉子なく里に 久富とし 【一・二月】
入選 春深み鎌足桜の咲く里は遠く近くにうぐいすの聲 石川 昇 【十一・十二月】
入選 山門に二羽の鶴鴿たわむれて鎌足桜はらりと散りぬ 上杉章子
入選 コロナ禍を知らずに逝きしわが友へ届けとばかり鎌足桜 川俣公男
入選 季（とき）くれば里山つつみて桜咲く世界を揺るがす憂ひを知らず 日下部扶美子
入選 晴るるあさ鎌足桜さく丘に子と来て歩む籠もりゐる日々 鈴木ひろ子
入選 台風に傾きしまま咲く花は揺れてゆられておらが春ゆく 本多二三代
入選 受け継がる子等植えたりし若い木に今年に花のあまた咲きおり 角田まさ子
佳作 雨上りしづく柔らに耀けり薄紅色の鎌足桜 西原千鶴子
佳作 矢那川のダムに集いし子供らを見守る如し鎌足桜 石井清次

俳句の部

- 鎌足桜保存会会長賞 里山のせせらぎ光る八重桜 瀬川泰行 【三・四月】
鎌足地区区長会会長賞 八重桜咲くや三十番札所 吉田洋子 【九・十月】
入選 鎌足の風となりけりうす桜 中村 瞳 【七・八月】
入選 休校の校舎見守る八重桜 吉田曉美
入選 八重桜こもれば揺れる鐘撞堂 黒須俊夫
入選 ゆるやかに葉風に揺るる里桜 高橋正子
佳作 自粛中知らずいつもの桜かな 川上佑樹
佳作 咲きほこる桜窓ごし揺れている 大岩璃子